

議決権行使レポート

証券コード 6622

会社名 ダイヘン

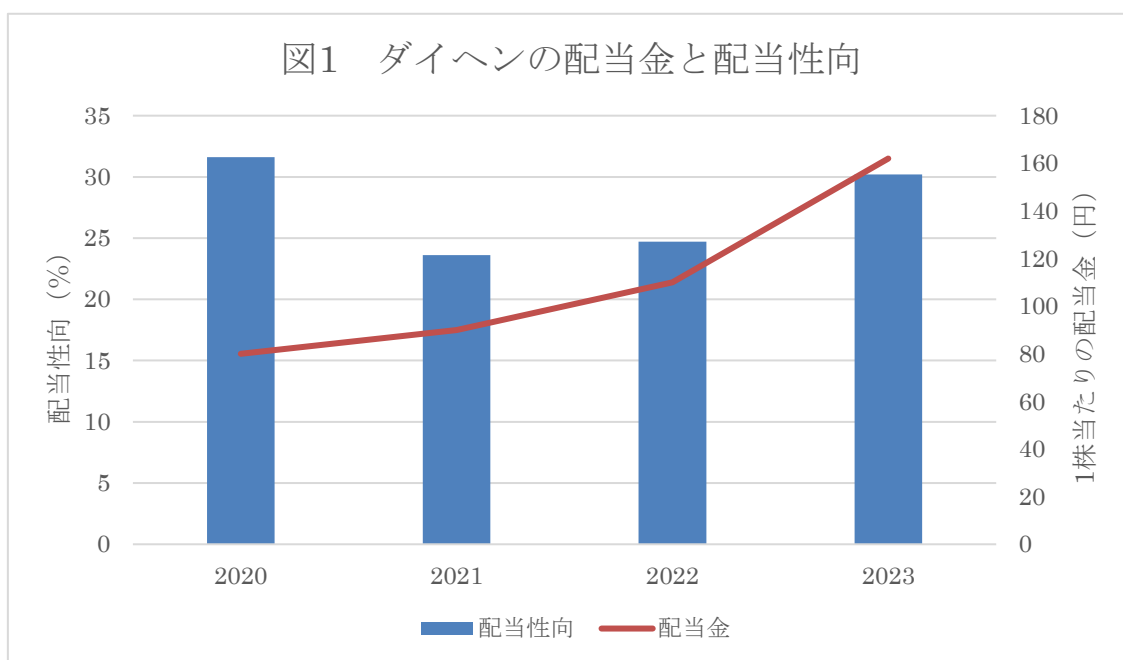
	賛成	反対	棄権
第1号議案 余剰金の処分の件	○		
第2号議案 取締役10名選任の件			
田尻 哲也 氏	○		
蓑毛 正一郎 氏	○		
加茂 和夫 氏	○		
森本 慶樹 氏	○		
木村 治久 氏	○		
和田 信吾 氏	○		
金子 健太郎 氏	○		
安藤 圭一 氏	○		
馬越 恵美子 氏	○		
藤原 康文 氏	○		
第3号議案 監査役3名選任の件			
東海 一郎 氏	○		
浦田 治男 氏	○		
注連 浩行 氏	○		

上記の推奨をした理由

・第1号議案 (賛成)

当社普通株式1株につき87円 総額2141682567円

今期の配当は以上のようになっていて、その配当性向は30.1%である。ISSの定めた基準によると、十分な説明がなく配当性向が継続的に低い場合や財務の健全性に影響を与えるほど配当性向が高い場合を除けば原則として賛成が推奨されており、その具体的数字は配当性向が15%以上100%以下というものなので今期の配当はこれを満たしている。また配当金を時系列で比較すると、去年度の1株当たりの配当が110円だったのに対し今年は162円と急上昇している。この原因を探るため、2020年度から2023年度までの一株当たりの配当金と配当性向をそれぞれまとめてグラフにすると以下の図1のようになる。



このグラフを見ると、1株当たりの配当金は年々上昇しているが、配当性向は一定の基準を守って安定しているのがわかる。そして今年度は配当金が約1.5倍になったのにも関わらず配当性向は5%の上昇で済んでいる。よって配当金の上昇は会社の成長に帰属するものであり、配当性向は一定の基準内に収まっているため、会社の財務に悪影響を及ぼすことはないと考えられる。

以上のことから私は第1号議案に賛成である。

#### ・第2号議案

##### ① 田尻 哲也 氏 代表取締役会長 (賛成)

田尻氏は代表取締役社長や代表取締役会長を歴任しており、その豊富な経験によってさまざまな専門的経験、知識を持ち合わせている。よって今後も会社運営にその力が必要だと考えられるため賛成。

##### ② 養毛 正一郎 氏 代表取締役社長 (賛成)

養毛氏は2021年から代表取締役社長を務めており、技術・研究開発における専門性を有している。今後の会社の技術的な発展に不可欠な存在だと考えられるため賛成。

##### ③ 加茂 和夫 氏 取締役専務執行役員 (賛成)

加茂氏は配電システム事業部、大形変圧器事業部を担当しており、2017年から取締役専務執行役員を務めているため、営業・企画部門において豊富な経験を持ち合わせている。これらの経験は会社の意思決定に貢献すると考えられるので賛成。

##### ④ 森本 慶樹 氏 取締役専務執行役員 (賛成)

森本氏は溶接・接合事業部、FAロボット事業部を担当しており、2021年から取締役専務

執行役員を務めているため、事業者そして技術者としての豊富な経験を持ち合わせている。これらの経験は会社の意思決定に貢献すると考えられるため賛成。

⑤ 木村 治久 氏 取締役専務執行役員 (賛成)

木村氏は産業電機事業部、EMS 事業部、充電システム事業部を担当しており、関西電力で経営の経験を経たうえで、2023年に当社の取締役専務執行役員となっている。よって経営・管理において豊富な経験を持っているため会社の意思決定への貢献を期待し賛成。

⑥ 和田 信吾 氏 取締役常務執行役員 (賛成)

和田氏は電力機器営業本部長であり、2021年から取締役常務執行役員を務めている。また技術者としての高い見識を持ち合わせているため、会社の意思決定そして会社の技術的発展への貢献を期待し賛成。

⑦ 金子 健太郎 氏 常務執行役員 (賛成)

金子氏は本社担当、リスク管理・コンプライアンス・安全担当であり、2017年より常務執行役員を務めている。取締役となるのは今年が初めてだが、この法務・リスク管理における専門性は会社の意思決定に大きく貢献すると考えられるため賛成。

⑧ 安藤 圭一 氏 社外取締役 (賛成)

安藤氏は、取締役会への出席状況が100%であり様々な会社での経験を通じて高い識見を有しているため、会社の意思決定に大きく貢献すると考えられる。また独立した立場からの助言は会社の経営に効果的だと考えられるため賛成。

⑨ 馬越 恵美子 氏 社外取締役 (賛成)

馬越氏は、取締役会への出席状況が100%であり経営学者としての知識・経験を通じて会社に効果的な助言ができると考えられる。また馬越氏は取締役では唯一の女性であり、独立した立場から会社の意思決定に貢献すると考えられるため賛成。

⑩ 藤原 康文 氏 社外取締役 (賛成)

藤原氏は、取締役会への出席状況が100%であり工学者としての専門的な経験知識・経験をもとに様々な助言ができると考えられる。また独立した立場から会社の意思決定に貢献すると考えられるため賛成。

・第3号議案

① 東海 一郎 氏 理事 (賛成)

東海氏は関係会社で取締役を務めた経験があり独立性がないようにも考えられるが、今までもダイヘンは2人の社外監査役と1人の社内監査役で構成されており、東海氏は監査役としては新任であることから大きな問題ではないと考えられる。むしろ、社内の事情を知るものとして監査機能の強化に貢献するものだと考えられるため賛成。

② 浦田 治男 氏 監査役 (賛成)

浦田氏は取締役会への出席状況と監査役会への出席状況がどちらも100%であり、監査機能の強化に貢献していると考えられる。また住友生命保険相互会社を退社した立場であ

り、ダイヘンに勤めた経験はないので独立性が保たれていると考えられるため賛成。

③ 注連 浩行 氏 監査役 (賛成)

注連氏は取締役会への出席状況と監査役会への出席状況がどちらも 100%であり、前年度から引き続いての監査役ではあるが、ダイヘンに勤めた経験がないため独立性が保たれていると考えられる。よって賛成。

参考文献

ISS 2023 年版 日本向け議決権行使助言基準 (最終アクセス 2023/06/22)

<https://www.issgovernance.com/file/policy/active/asiapacific/Japan-Voting-Guidelines-Japanese.pdf>

ダイヘン 第 159 期定時株主総会招集ご通知 (最終アクセス 2023/06/22)

[https://www.daihen.co.jp/ir/pdf/2023\\_0601\\_meeting.pdf](https://www.daihen.co.jp/ir/pdf/2023_0601_meeting.pdf)